

令和6年第8回教育委員会会議

1 日 時

令和6年8月27日(火)
開会 13時30分
閉会 14時50分

2 場 所

県庁行政庁舎 17階 教育委員会室

3 出席者

北野喜樹教育長、新屋長二郎委員、眞鍋知子委員、新家久司委員、高野勝委員、辻奈穂子委員

4 説明のため出席した職員

原敬教育次長、塩田憲司教育次長、金子俊一教育次長、北島公之教育次長兼学校指導課長、筒井諒太郎事務局課長、山本一彦庶務課長、高倉英明教職員課長、岩木智子生涯学習課長、池田正明文化財課長、瀬戸博邦保健体育課長

5 議案件名及び採決の結果

- 議案第25号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について(原案可決)
議案第26号 石川県産業教育審議会委員の委嘱について(原案可決)
議案第27号 石川県社会教育委員の委嘱(任命)について(原案可決)
議案第28号 令和7～10年度使用石川県立錦丘中学校教科書の採択について(原案可決)
議案第29号 令和7～10年度使用石川県立あすなろ中学校教科書の採択について(原案可決)
議案第30号 令和7～10年度使用石川県立特別支援学校中学部教科書の採択について(原案可決)

6 報告

- 報告第1号 令和6年度埋蔵文化財専門調査員採用選考試験の実施について
報告第2号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

7 審議の概要

- ・開会宣告
北野教育長が開会を告げる。
- ・会議の公開・非公開の決定
議案第26号及び議案第27号は人事に関する案件のため、議案第28号、議案第29号及び議案第30号は教科書採択に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを全会一致で決定。
- ・質疑要旨
以下のとおり。

議案第 25 号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
について（山本庶務課長説明）

それでは、議案第 25 号、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
の点検及び評価」について、お手元にあります別添の資料をご覧ください。

本議案につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条に
おいて、教育委員会は、所管する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価
を行い、公表することとされておりますので、その内容をお諮りするものでありま
す。

なお、この報告書の作成にあたり、教育委員の皆様方にご意見をお聞きしたほか、
学識経験を有する方として、金沢美術工芸大学の桑村教授、金沢大学の原田准教授
のお二方から、点検評価に対するご意見をいただき、報告書に反映させておりま
す。

それでは、概要につきまして、お手元の報告書（案）で概要をご説明させていた
だきます。

1 ページをお開き願います。

1 つ目の柱は、「いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育
成」であります。

「地域の特色を活かしたふるさと教育の推進」につきましては、各県立高校にお
いて、自然や歴史・伝統文化・産業などの地域の教育資源をふるさとの偉人と関連
付けて学ぶフィールドワーク等を実施し、優秀な取組事例を県教委でとりまとめ、
全県立高校 で共有したことを記載しております。

2 ページをお開き願います。

「ものづくり高校の魅力発信の強化」につきましては、近年、出願数が減少傾向
にある工業系高校の魅力積極的にアピールするため、中学生・保護者・中学校教
員を対象に、最新設備を活用したものづくり体験会や進路状況の説明会、OB・
OG によるものづくり産業の魅力などの講話を実施するとともに、各学校の授
業の様子や特色、教員やOB・OG へのインタビュー等をまとめた動画を作成す
るなど、魅力発信を行ったことを記載しております。

5 ページをお開き願います。

2 番目の柱は、「学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成」であ
ります。

具体的な内容については、7 ページをご覧ください。

「きめ細かな指導体制の充実」につきましては、本県では、教員の加配定数を活用
して、国より 1 年前倒しで、小学校 5 年生の 35 人学級を実施し、さらに今年
度、小学校全学年での 35 人学級を実施していることを記載しております。

10 ページをお開き願います。

「いしかわ特別支援学校と明和特別支援学校の教育環境の向上」につきましては
は、金沢向陽高校の敷地内に建設する、いしかわ特別支援学校高等部の新校舎
の建設工事を昨年 10 月に着手したほか、両校及び県教委担当課の教員からなる
プロジェクトチームにおいて、インクルーシブ教育の具体の検討・試行を進める
など、令和 7 年 4 月の開校に向け、ハード・ソフトの両面から諸準備を進めている
ことを記載しております。

13 ページをお開き願います。

3番目の柱は、「豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり」であります。こちらにつきましては、15ページをお開き願います。

「別室登校児童生徒へ対応する専任教員の配置」につきましては、不登校の児童生徒の安心・安全な居場所を確保し、一人一人丁寧な学習指導を行い、信頼関係を構築するため、新たに別室登校児童生徒へ対応する専任教員を小・中学校10校に配置したことを記載しております。

18ページをお開き願います。

「全国高等学校総合文化祭の開催に向けた準備」につきましては、令和9年度の本県での開催が内定した、演劇、合唱、吹奏楽などの発表や展示が行われる「文化の祭典」である「全国高等学校総合文化祭」に全国から約2万人の高校生を迎えるべく、開催準備委員会の設置や大会基本方針の策定などの諸準備を進めたことを記載しております。

20ページをお開き願います。

4番目の柱は、「信頼される質の高い学校づくり」であります。こちらにつきましては、1枚おめくりいただき、21ページをお開き願います。

「キャリアステージに応じた教員研修の実施」につきましては、若手教員の早期育成に努めるとともに、中堅教員の教科指導力やマネジメント力を身に付けるための研修の実施など、教員の資質・能力の向上を図ったことを記載しております。

24ページをお開き願います。

「県立夜間中学「あすなろ中学校」の開校に向けた準備」につきましては、金沢中央高等学校内に北陸初の県立夜間中学として「石川県立あすなろ中学校」を設置することとしており、現在、改修工事を進めているところであります。また、入学希望者の把握や気運醸成のためのシンポジウムを開催したことなどを記載しております。

25ページをお開き願います。

「教職員の多忙化改善に向けた取り組み」につきましては、スクール・サポート・スタッフやICT支援員を配置するほか、部活動指導員の配置を拡充するとともに、公立中学校における休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、公立中学校の部活動の地域移行に向けた市町の取組を支援したものであります。さらに、長時間労働の要因の一つであるテスト等の採点・集計業務の時間短縮のため、全ての全日制高等学校で採点業務省力化ソフトを使用したことを記載しております。

26ページをお開き願います。

「県立学校の施設設備の整備」につきましては、県立学校の老朽化対策及び学習環境の充実のため、大聖寺高等学校ほか7校で大規模改修を実施したことを記載しております。

30ページをお開き願います。

5番目の柱は、「学校、家庭、地域が連携・協力した、社会全体による教育力の向上」であります。

「地域と学校の連携・協働体制構築への支援」につきましては、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する4市町に対して、推進員の配置や研修会の開催を支援したことなどを記載しております。

32ページをお開き願います。

6番目の柱は、「生涯にわたり学び続ける環境づくり」であります。

「県民大学校の充実」につきましては、多様化する県民の学習ニーズに応えるため、941の講座を開設し、開校以来の修了生は、延べ20,804名に達したこと、子育て世代を対象とした、「ファミリー・カレッジ in 本多の森」を開催するなど、若い世代の学習機会の充実と生涯学習の振興を図ったことを記載しております。

33ページをお開き願います。

7番目の柱は、「文化財の保存・活用」であります。

「金沢城三十間長屋の保存修理」につきましては、国の重要文化財に指定されている金沢城三十間長屋は、鉛瓦の屋根の約半分が赤茶色に変色し、また、屋根の全面が劣化していることから、令和4年度から2か年で、屋根全面の鉛瓦の葺き替えを行ったことを記載しております。

34ページをお開き願います。

「金沢城石垣の魅力発信」につきましては、石垣の価値と特徴を解説する動画「『石垣の博物館』金沢城」を作成し、YouTubeでの公開、鶴の丸休憩館モニターでの放映、希望者へのDVDの配付を実施したことなどを記載しております。

36ページをお開き願います。

「文化観光・食文化の推進」につきましては、金沢市を中心に県内に広く普及し、国内外で高く評価されている「加賀料理」の無形文化財登録を目指し、加賀料理の実態把握に向けた料理店へのアンケート調査を実施したほか、料理店への現地調査を実施したことを記載しております。

37ページをお開き願います。

8番目の柱は、「ライフステージに応じたスポーツ活動の充実」であります。

「令和6年度全国中学校体育大会の開催準備」につきましては、今月、北信越ブロックで全国中学校体育大会が開催され、本県では、水泳、サッカー、ソフトテニスの3競技が行われました。

令和5年度において、大会の円滑な実施に向け、実行委員会の運営に対して支援したものであります。

41ページをお開き願います。

「教育委員会会議及び教育委員の主な活動」であります。

「1 教育委員会会議」につきましては、令和5年度は15回開催し、議案35件、報告事項32件について教育委員の皆様へ、精力的にご審議やご意見をいただきました。

その下の「2 教育委員の主な活動」につきましては、委員の皆様には、大変お忙しい中、年間を通して積極的に活動いただきました。その一覧表でございます。

42ページからは、審議された議案や報告事項について、44ページは、「令和6年能登半島地震発災以降の教育委員会の主な対応」について、最後の45ページにつきましては、教育委員会の当初予算の概要を記載しております。

以上で説明は終わりますが、本日、審議いただいた後、議会へ報告書を提出するとともに、ホームページに掲載し、公表することとしておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【質疑】

なし。

(北野教育長)
採決を行う。

(各委員)
異議なし。

報告第1号 令和6年度埋蔵文化財専門調査員採用選考試験の実施について（山本庶務課長説明）

「報告第1号 令和6年度埋蔵文化財専門調査員採用選考試験の実施について」説明いたします。

埋蔵文化財専門調査員の採用については、平成30年度以降10年間で10名の退職が見込まれていたことから、同期間で同人数の採用を目指し、平成30年度以降、毎年、採用選考試験を実施しているものであります。

「1. 職務内容 採用予定数等」につきましては、

(1) 職務内容のとおり、文化財課や埋蔵文化財センター、金沢城調査研究所などで埋蔵文化財の発掘調査等の専門的業務に従事するものであります。

(2) 採用予定数は、1名としております。

「2. 試験内容及び試験期日等」につきましては、

(1) 募集期間は8月20日（火）から10月13日（日）までとし、申込方法は原則としてインターネットによる申し込みとしております。

(3) 第一次試験については、教養試験、専門試験、実技試験、適性検査を10月26日（土）に実施することとしております。

その後、第一次試験の合格者を対象に第二次試験として、面接試験は12月上旬を予定し、合格者の決定は12月下旬に行うこととしております。

「3. 受験資格」につきましては、

(1) にありますとおり、年齢は、採用時に50歳未満である昭和50年4月2日以降に生まれた者としております。

(2) 学歴等につきましては記載のとおりであります。

埋蔵文化財専門調査員の採用につきましては、しっかりと能力・資質を見極めて採用決定したいと考えております。

以上で、報告第1号の説明を終わります。

【質疑】

なし。

報告第2号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について（北島次長兼学校指導課長説明）

次に、報告第2号、「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果」につきまして、ご説明いたします。12ページをご覧ください。

まず、「Ⅰ 調査の概要」であります。「1 調査の目的」、「2 調査の対象」、「3 調査実施日」につきましては、記載のとおりでございます。

「4 調査の内容」につきましては、小学校6年を対象に、国語と算数、中学校3年を対象に、国語と数学に関する調査、そして、学習習慣や生活習慣等に関する質問調査が実施されました。

「5 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数」につきましては、記載のとおりでございます。なお、能登半島地震により、輪島市内の小中学校は実施を見送っております。

13ページをご覧ください。

「Ⅱ 調査の結果」であります。

まず、「1 教科に関する調査の結果」について、文部科学省は、平成29年度から、全国の平均正答率は、小数点以下第1位まで、都道府県の平均正答率については、整数値で公表することとしております。例えば、小学校6年の国語において、本県は72、全国は67.7となっております。

資料にありますように、小学校6年、中学校3年ともに、いずれの教科においても、全国を上回る結果となりました。

なお、既に報道されておりますように、小学校6年は国語、算数ともに全国2位、中学校3年は国語、数学ともに全国1位でした。

こうした結果については、平成19年度から実施されている全国調査に先立ち、平成14年度から、県独自の基礎学力調査を実施してきたことや、平成21年度から、金沢大学と連携して全国調査の結果を分析し、市町教委や各学校と連携して、授業改善に生かしてきたこと、そして何よりも、学校現場の教員や、子ども達の日頃の努力が実を結んだものと考えております。

14ページをご覧ください。

「2 質問調査の結果」についてであります。

児童生徒に対する質問から10項目、学校に対する質問から4項目を抜粋し、この後、順次説明いたします。

15ページをご覧ください。

まず、「児童生徒質問」について、(1)～(4)は、「学習に対する興味・関心や授業の理解度等」についての質問になります。

各質問で肯定的な回答をした児童生徒の割合は、「(1) 国語の授業の内容はよく分かるか」については、小6は全国と同程度、中3は全国よりやや高い数値となっております。

「(2) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」については、小6、中3ともに全国と同程度となっております。

16ページをご覧ください。

「(3) 算数・数学の授業の内容はよく分かるか」については、小6、中3ともに全国よりやや高い数値となっております。

「(4) 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」については、小6は全国と同程度、中3は全国よりやや高い数値となっております。

17ページをご覧ください。

(5)と(6)は「授業改善に関する取組状況」についてです。

「(5) 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」については、小6は全国と同程度、中3は全国よりやや高い数値となっております。

「(6) 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいたか」については、小6、中3ともに全国と同程度となっております。

18ページをご覧ください。

(7)は「学習習慣等」について、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていたか」という質問となります。

小6、中3ともに、全国と同程度となっておりますが、小6においては全国より、1.1ポイント低くなっております。今後、児童が主体的に問題解決等ができるように、指導改善に努めて参ります。

(8)と(9)は、児童生徒の「自己有用感等」についてです。

「(8) 自分には、よいところがあると思うか」については、小6は全国よりやや低く、中3は全国と同程度となっております。

19ページをご覧ください。

「(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか」については、小6、中3ともに全国と同程度となっております。

(10)は「ICTを活用した学習状況」についてです。

「前年度までの授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか」という質問です。

「ほぼ毎日」、「週3回以上」、「週1回以上」と回答した児童生徒の割合は、小6は全国よりやや高く、中3は全国より高い数値となっております。

20ページをご覧ください。

ここからは、「学校質問」の結果になります。

(11)～(13)は「授業改善に関する取組状況」についてです。

この中から1項目を取り上げてご説明します。

「(12) 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたか」については、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校、中学校ともに、全国よりやや高い数値となっております。

21ページをご覧ください。

(14)は「調査結果の活用」についてです。「令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用したか」という質問です。

これが本県の大きな特徴の1つですが、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校、中学校ともに、100%でした。

特に「よく行った」という積極的な回答の割合は、全国平均より小学校で39.6ポイント、中学校で35.1ポイント、それぞれ大きく上回っており、本県の先生方は、学力調査結果を、その時だけのもので終わらせることなく、「児童生徒の

教育指導の充実や、学習状況の改善策に役立てて、継続的な検証改善サイクルを確立する」という意識が高いという結果がうかがえます。

県教委の今後の進め方としては、まずは、県全体の結果を分析して、冊子「結果の概要」に取りまとめ、来月、市町教委や各学校等に配付したいと考えております。

また、金沢大学と連携して、調査結果をさらに詳細に分析し、成果や課題を洗い出すとともに、各学校で柔軟に活用できるように、2月頃には、効果的な取組事例等を教員専用のWEBページに掲載し、今後の授業改善にしっかりと生かしていきたいと考えております。

以上で説明を終わります。

【質疑】

(高野委員)

質問紙のところで、当てはまるとか、どちらかといえば当てはまる大体数字的に見ると、本県と全国ではほとんど変わりません。

ただ学校質問を見ると、よく行ったとか、どちらかと言えば行った大体数字は同じなんですけども、大きな違いは学校ではよく行ったという割合が全国平均よりもかなり高いということがわかります。

つまり各学校においては、全国学力学習状況調査の結果を、本県は全国よりも遥かによく行ってるっていうそういうところが、この結果には出てるんじゃないかなと思います。このままテストの結果を授業改善に使っていただければいいかなと、そんなふうに思ってこの表を見ました。

(北野教育長)

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第 26 号 石川県産業教育審議会委員の委嘱について

北島学校指導課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第 27 号 石川県社会教育委員の委嘱（任命）について

岩木生涯学習課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第 28 号 令和 7 ～ 1 0 年度使用石川県立錦丘中学校教科書の採択について

北島学校指導課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第 29 号 令和 7 ～ 1 0 年度使用石川県立あすなろ中学校教科書の採択について

北島学校指導課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第 30 号 令和 7 ～ 1 0 年度使用石川県立特別支援学校中学部教科書の採択について

北島学校指導課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

・閉会宣言

北野教育長が閉会を告げる。